

電動丸

3000R

取扱説明書

このたびは、シマノ電動丸3000Rをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、リール同様大切に保存していただきますようお願い申し上げます。

特長	2	高切れの補正	26
デジタルカウンターの各部の名称	3	船べり自動停止について	27
メインスイッチについて	4	棚または底の水深をメモリーする方法	29
各部の名称	5	2通りの棚の取り方・上からモードと底からモード	31
電源とコードについて	6	上からモードの実釣編	32
学習方法	7	底からモードの実釣編	33
学習方法（全体の流れについて）	8	2通りの巻き上げ方・楽釣モードと速度一定モード	34
学習方法 1.メータごとのマーカのある糸を巻かれる場合（学習モード）	10	お取り扱い上の注意	39
学習方法 2.ナイロンラインなどマーカのない糸を巻かれる場合（学習モード）	12	セーフティ機能	41
学習方法 3.シマノ・デュラPE船6号300mを巻かれる場合（指定モード）	14	仕様	42
学習方法 4.PEライン6号200m/4号300mを巻かれる場合（下巻モード）	16	製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内	43
5.それ以外の組み合わせを巻かれる場合（下巻モード）	16	故障かな？と思われたときは	44
手順について	20	安全上のご注意	46
色々なテクニック	22	サービスネット	47
0（ゼロ）セットの設定	24		



2種類の巻き上げ方法を選択できる...

「**楽釣モード**」「**速度一定モード**」
切り替え。

別紙・楽/速モード取説参照
巻き上げ速度が変化する「楽釣モード」と、従来の「速度一定モード」の切り替えで状況に応じた巻き上げが可能です。



巻き上げフィーリング抜群の...
スーパーストッパーII



このクラストップレベルの...
軽量コンパクト化を実現。



さらに磨きのかかった...
ハイスピード&ハイパワーを装備。



水深をアラームで知らせる...

棚メモ・オート棚メモ。

P29参照

棚または底の水深をメモリーすれば、次回そこにシカケがくるとアラームが鳴ります。



スピーディーに巻き上げる...

カラ巻きHiスピード。

P4参照

シカケのカラ巻きを高速で行ない、手返しやポイントの移動などで威力を發揮します。



より正確に何回でも狙った水深にシカケを落とす...

0（ゼロ）セット。

P24参照

シカケが水面にあるときを0メートルとして設定できますから、狙った水深に、より正確にシカケを投入できます。



竿を立てたときにシカケが手元に戻ってくる...

船べり自動停止。

P27参照

船べり停止位置が自動的に設定されますから、船べり停止後、竿を立てるだけでシカケが手元に戻ります。



高切れをワンタッチで修正する...

高切れ補正。

P26参照

高切れした場合は、再度シカケを結びシカケを水面に合わせて0セットボタンを押してください。カウンターが修正されます。



プログラマ不要の新SLS方式...

SLS II (シマノ・ラインプログラム・システム2) 搭載。

より正確な棚取りが可能です。 P8～19参照



コンピュータコントロールの...

ワンタッチ切り替え15スピード巻き上げ。

P36参照

15段階に速度切り替え可能なため好みのスピードが選べます。



カウンター表示を選択できる...

「上からモード」「底からモード」切り替え。

P31参照

釣場、釣り方、対象魚など場合に依りて上（水面）から・底からの水深表示を切り替えることができます。

デジタルカウンターの各部の名称

楽/速ボタン



ワンタッチ

押すごとに楽釣モード・速度一定モードが切り替わります。(詳細は別紙楽/速モード取説参照)

メモ・0(ゼロ)セットボタン



ワンタッチ

上からモードの時、現在の水深をメモリーします。底からモードの時には同時に現在の水深が0.0になり底からのカウントになります。



3秒以上

0セットします。シカケを水面に合わせて0セットしてください。

モードボタン



先の細いものでワンタッチ

押すごとに学習・指定・下巻・標準の順でモードが切り替わります。

現在の水深

「上からモード」の時は水面からの水深、「底からモード」の時は底からの水深を表示します。

自動糸送り機能

シカケをおろす時船べり位置より5m以上で自動的にモーターが回りスプールが糸の出る方向に回転しやすくなります。機能がオフの時は「糸送止」が点灯します。

発光ダイオード

赤の時...楽釣モード
緑の時...速度一定モード

変速スイッチ



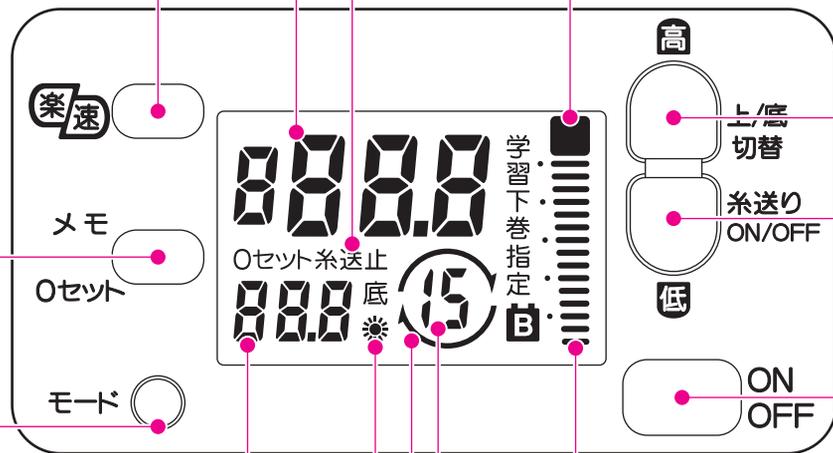
ワンタッチ

楽釣モードの時、テンションの数値の設定を行います。(15段階)速度一定モードの時、巻き上げ速度を目的・好みによって15段階に選べます。(最高速155m/分、104m/分から7m/分まで14変速の合計15変速)



3秒以上

電動巻き上げがオフの状態、押すごとにそれぞれ「高」...底からモード・上からモードの切り替え「低」...糸送りのオン・オフの切り替えをします。



メモリーした水深を表示します。

メモボタンを押したときに点灯します。(一旦点灯しても船べり停止時〔6m以下〕に楽/速ボタンを3秒以上押せばマークが消え、再度オート棚メモが働きます。)

現在の電動巻き上げスピードの設定を表示します。

テンションの数値

楽釣モード時は、この数値を設定します。巻き上げの力(糸のテンション)を数字で表示しています。(数字=kgではありません。)

ダブルクリックの表示

点灯...通常
消灯...ダブルクリック

メインスイッチ

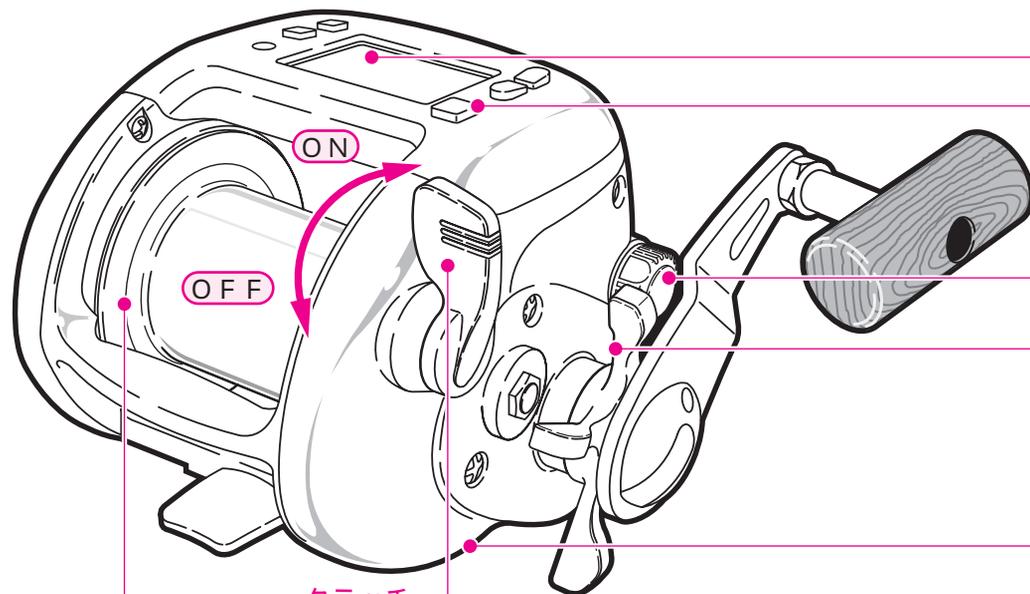
電動巻き上げのオン・オフスイッチ。船べり停止後は押している時のみ電動巻き上げになります。

各種表示

底：底からモード時に点灯します。点灯のない時は上からモードです。
学習・下巻・指定：各モード時に点灯します。
0セット：0セット受け付け時に点灯します。
B：バッテリーが不足したときに点灯します。

図は説明のために液晶を全部点灯させています。

各部の名称



デジタルカウンター

メインスイッチ

スプールコントロールツマミ

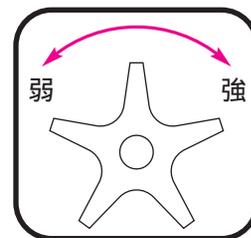
スプールの回転にブレーキをかけてシカケをおろす時のバックラッシュを防止します。

スタードラグ

魚が強く引いた時、ハリス切れをおこさないように糸を送り出す力を調整します。

ラインホルダー

糸を止めておくものです。



クラッチ

ハンドル正転または手で戻すとONになります。

ON : シカケの巻き上げ

OFF : スプールをフリーにしてシカケをおろします。

6号-200m・4号-300mの下巻ライン

変速スイッチ

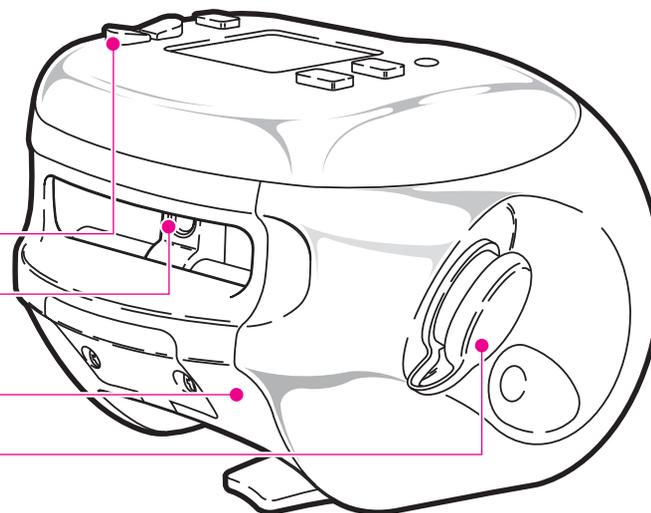
DDL (ダイレクトドライブレベルwind)

電動巻き上げ時に指をはさまないように注意してください。

セーフティレベルwindカバー

電源コネクター

使用時は防水キャップを外してください。



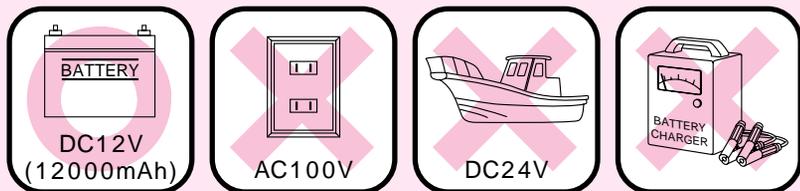
電源とコードについて

1 お取り扱い上の注意

電源について

電源は、直流（DC）12Vです。（容量は12,000mAh以上のもののご使用をおすすめします。）指定外の電源（たとえば家庭用の交流100V、船装備の直流24Vなど）では使用できません。

バッテリーチャージャーなどは、絶対に使わないでください。



船に備え付けの電源を利用される時は、電圧が直流（DC）12Vであること（船のバッテリーをご使用になる場合は12Vを直接とるのではなくDC-DCコンバータにより24Vから12Vに変換されたものに限ります。）をご確認ください。また、端子がサビしているとリールが正常に作動しない場合がありますので、サビを取り除いてご使用ください。

十分に充電したバッテリーをご使用ください。

釣行後、バッテリーは長持ちさせるためすぐに充電してから保管してください。そして再度、釣行前に充電してご使用ください。

バッテリーは長期間使用されますと、次第に、充電できる容量が少なくなります。その場合は、バッテリーのみ新しいものをお求めください。

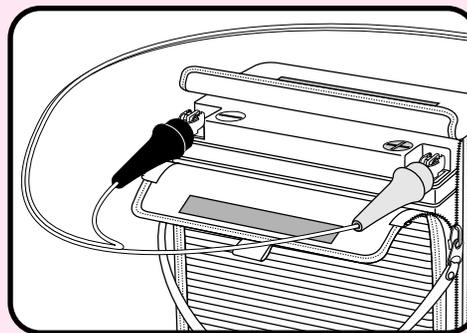
コードについて

電源との接続は、必ず付属のシマノ純正電源コードを用いてください。

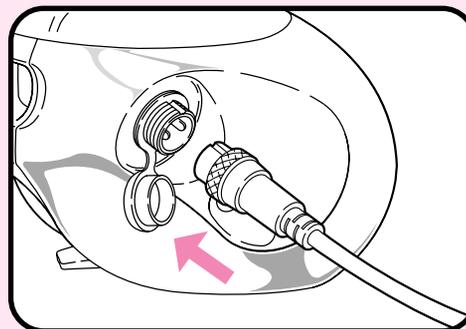
ご注意：純正以外のコードを使用されると、リールが正常に作動しない場合があります。また、電源コードは乱暴に扱わないでください。踏んだり、折り曲げたりすると、故障の原因となります。

2 バッテリーとの接続方法

- 1 バッテリーに付属の電源コードを接続してください。
下図のように、赤クリップを（+）側に、黒クリップを（-）側に、つないでください。

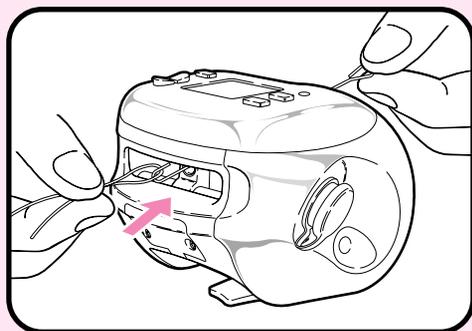


- 2 それから、リールと電源コードを接続します。
電源コードのプラグの凹部と、リールの電源のコネクターの凸部を合わせ、奥まで差し込んで、ネジを締めてください。

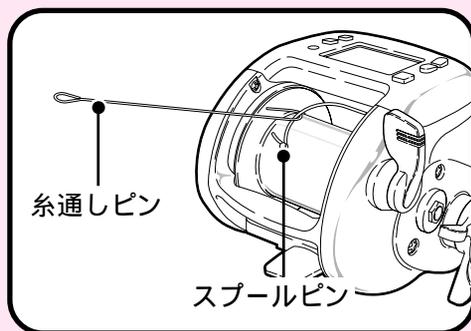


糸をセットします。

- 1** 糸をレベルウィンドに通します。
糸を通すときは、付属の糸通しピンを使用することをおすすめします。



- 2** スプールピンに糸を結んでください。

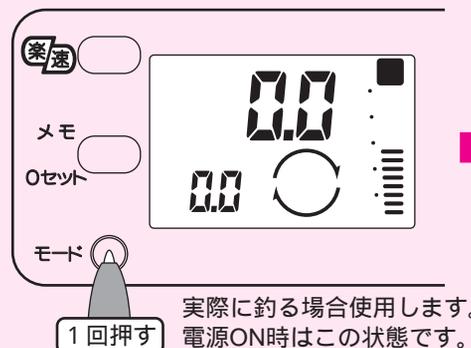


モードスイッチについて。

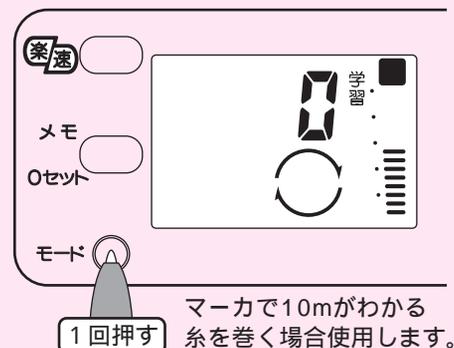
モードスイッチは1回押すごとに下記のように切り替わります。
使用する糸の種類に合ったモードを選択します。(次ページからの説明を参照)

12V電源をつないでいないとこの操作は行えません。

電動標準モード



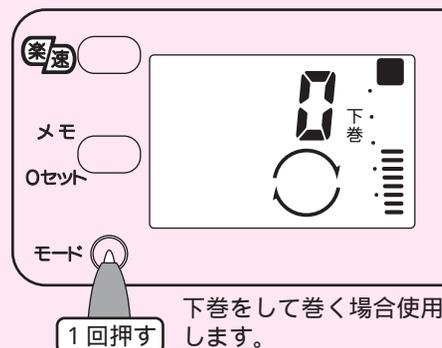
学習モード



ピピッ

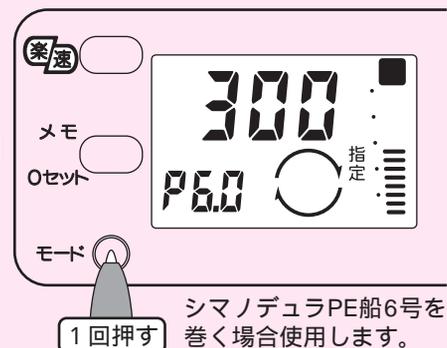
標準モードに戻ります。

下巻モード



ピッ

指定モード



学習方法 (全体の流れについて)

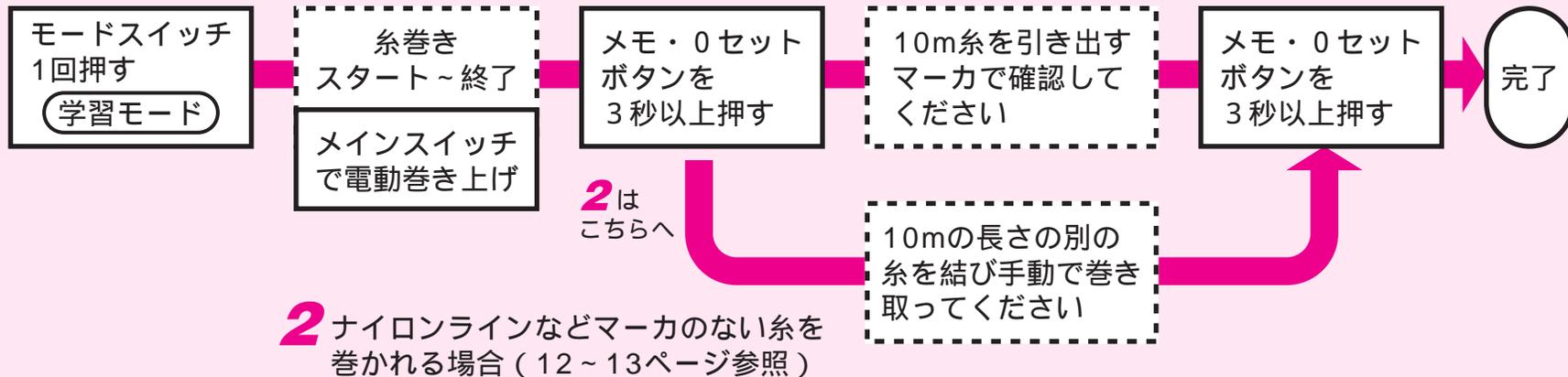


糸を巻く前にどのようにするのか、全体の流れをつかんでください。
大きくは下図の**1**～**5**までの5通りの学習方法があります。より詳しい説明はそれぞれのページを参照してください。

12V電源をつないでいないとこの操作は行えません。

下巻なしでフルに巻くなら...

1 メータごとのマーカのある糸を巻かれる場合 (10～11ページ参照)



3 シマノ・デュラPE船6号300mを巻かれる場合 (14～15ページ参照)

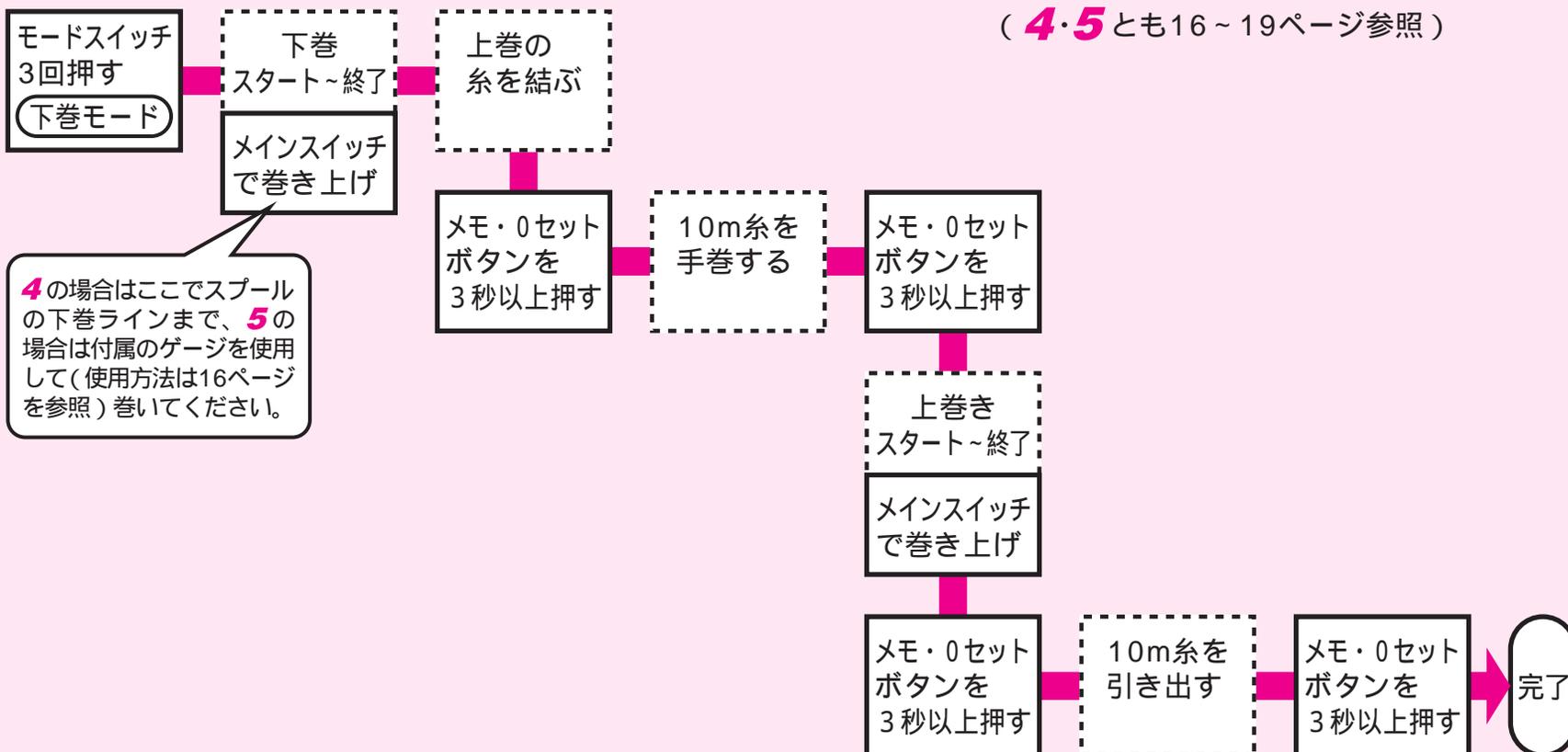


下巻をして巻くなら...

4 PEライン6号200m/4号300mを巻かれる場合:スプールの下巻ラインを使用

5 それ以外の組み合わせを巻かれる場合 (PEライン4号200m/5号200m/5号300m) : 付属ゲージを使用

(**4・5** とも16~19ページ参照)



4 の場合はここでスプールの下巻ラインまで、**5** の場合は付属のゲージを使用して(使用方法は16ページを参照)巻いてください。

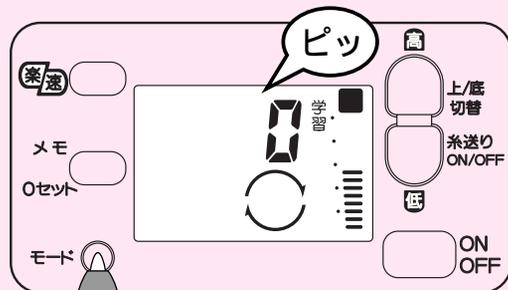
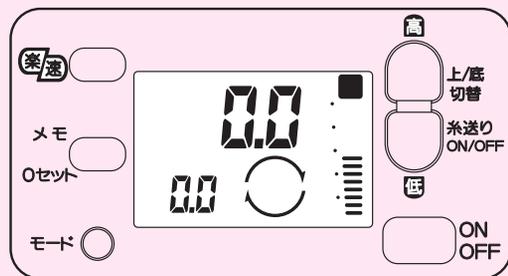
学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)



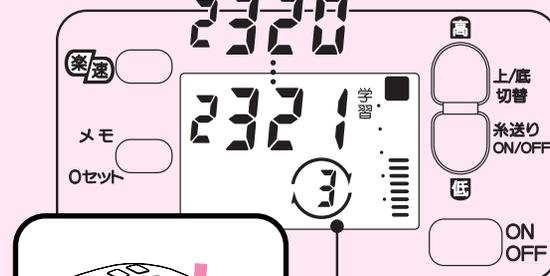
1 メータごとのマーカのある糸を巻かれる場合(学習モードを使用します。)

ナイロン糸などメータのマーカのない糸を巻かれる場合は12～13ページをごらんください。
また、デュラPE(新素材)6号を300m巻いたデータはすでにインプット済みです。(指定モード・14～15ページ参照)下巻を行っての学習も可能です。(下巻モード・16～19ページ参照)

23 19
スプールの回転数を示します。



1回押す

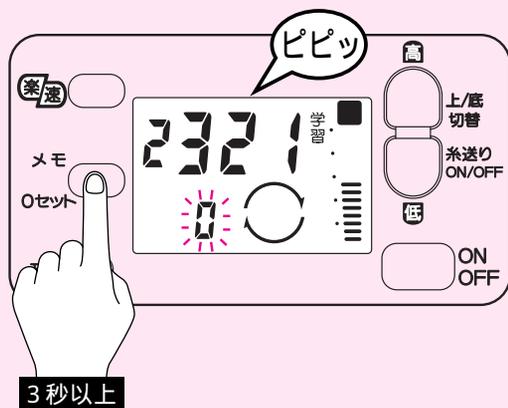


巻き上げのテンションはこの数字が3になるようにしてください。

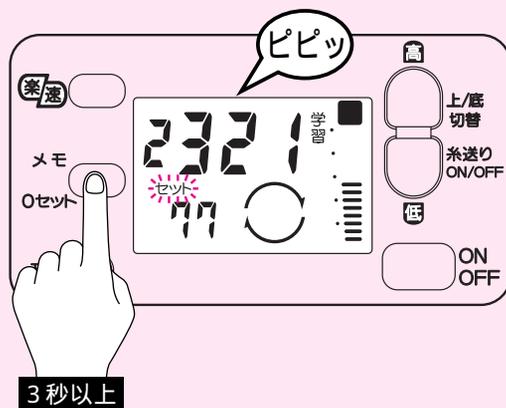
1 クラッチレバーをONにしてください。そして、電源の接続を確認してください。デジタル表示は図のようになります。

2 先の細いボールペンのようなもので、モードスイッチを1回押すと「学習」が表示され、学習モードになります。モードスイッチを2回以上押しすぎて指定・下巻モードになってしまった場合、学習が表示されるまで何回か押してください。

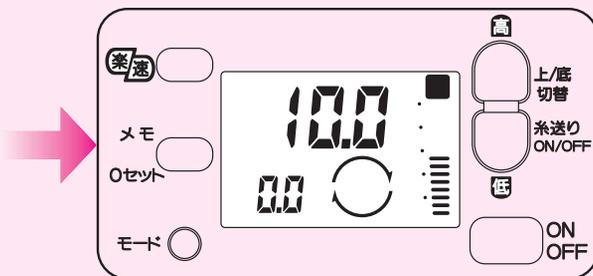
3 メインスイッチを押して糸を巻いてください。回転数が表示されます。巻き上げのテンションは矢印内の数字が3になるようにしてください。この数字はリールが巻き上げている力(糸のテンション)を数字で表示します。数字=kgではありません。また、楽速モード時の数値とも異なります。巻き上げ速度は変速ボタンで調節できます。巻くのを止めるときは、もう一度メインスイッチを押してください。



- 4** 糸を完全に巻き終えたら、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。表示は図のようになります。



- 5** 糸を正確に10m分引き出します。(糸の10mごとの色の変化、もしくは1mごとのマーカの数で確認します。) 回転数が下段に表示されます。学習を終了するため、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。「セット」が表示されます。各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、その後次のモードになります。

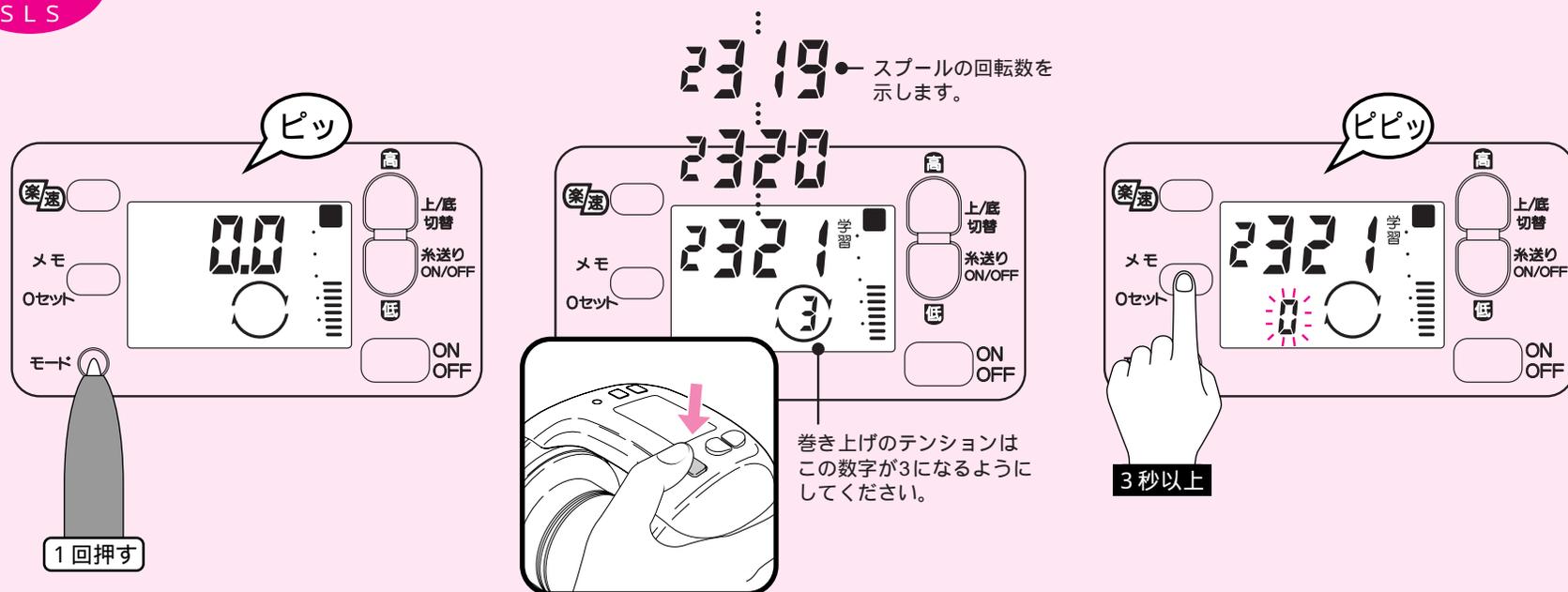


- 6** 表示が上からモードに戻り、学習は完了です。(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。) 誤差とは、学習後1投目の誤差です。
- 7** 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。

学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)



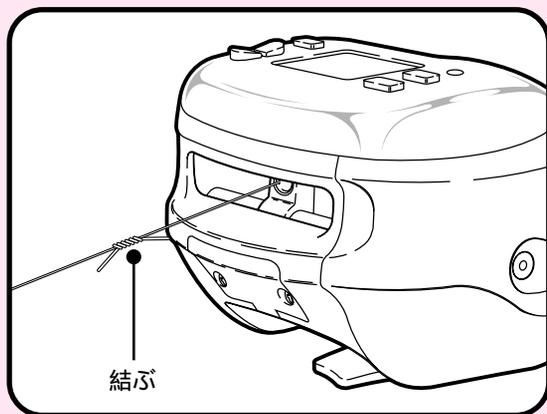
2 ナイロンラインなどマーカのない糸を巻かれる場合(学習モードを使用します。)



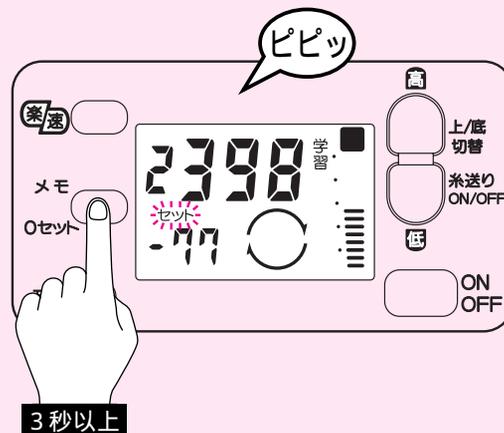
1 クラッチレバーをONにしてください。
そして、電源の接続を確認してください。
先の細いボールペンのようなもので、モードスイッチを1回押すと「学習」が表示され、学習モードになります。
モードスイッチを2回以上押しすぎて指定・下巻モードになってしまった場合、学習が表示されるまで何回か押してください。

2 メインスイッチを押して糸を巻いてください。
回転数が表示されます。
巻き上げのテンションは矢印内の数字が3になるようにしてください。この数字はリールが巻き上げている力(糸のテンション)を数字で表示します。数字=kgではありません。また、楽速モード時の数値とも異なります。
巻き上げ速度は変速ボタンで調節できます。
巻くのを止めるときは、もう一度メインスイッチを押してください。

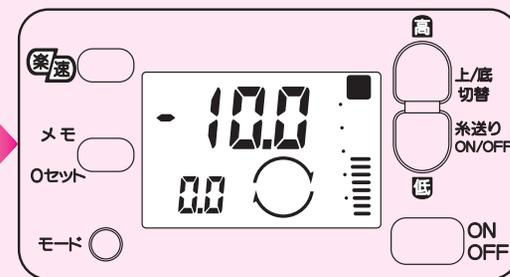
3 糸を完全に巻き終えたら、メモ・0セットボタンを3秒以上押しってください。
表示は図のようになります。



4 巻き取った糸の先に長さ10mの別の糸を結びつけます。



5 結びつけた糸を手巻きで巻き取ります。回転数が下段に表示されます。学習を終了するため、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。「セット」が表示されます。各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、その後次のモードになります。



6 表示が上からモードに戻り、学習は完了です。(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。) 誤差とは、学習後1投目の誤差です。

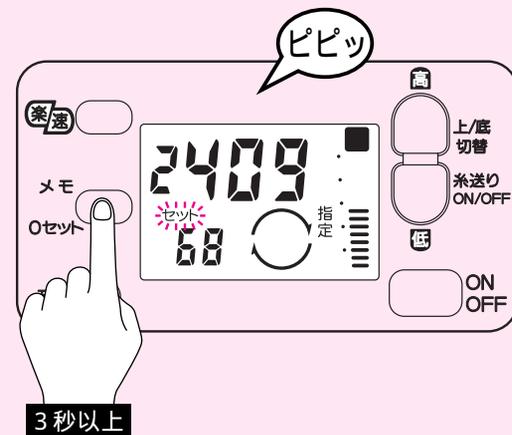
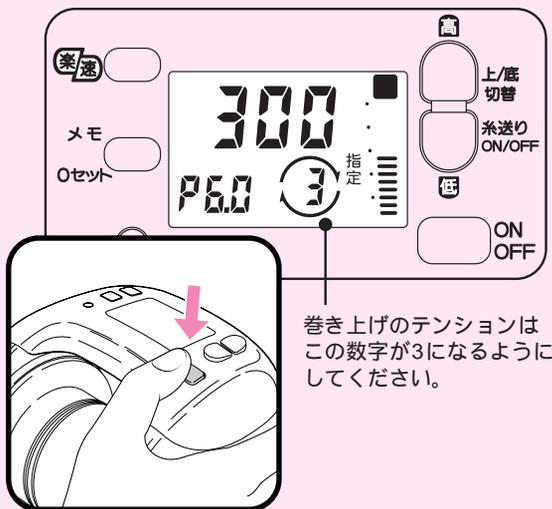
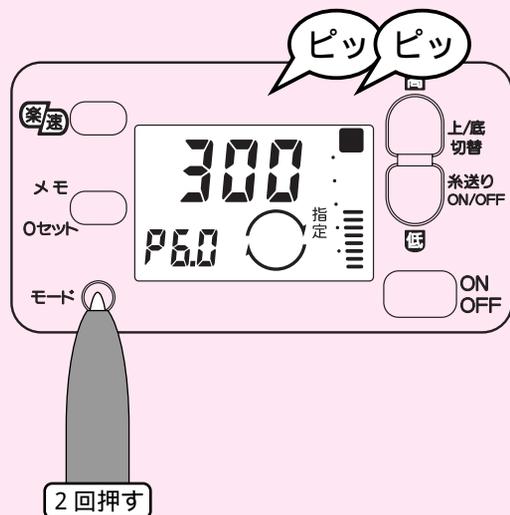
7 結びつけた糸を引き出して、取りはずしてください。

学習方法 (インプット済みのラインデータも使用できます。)



3 シマノ・デュラPE 6号-300mを巻かれる場合 (指定モードを使用します。)

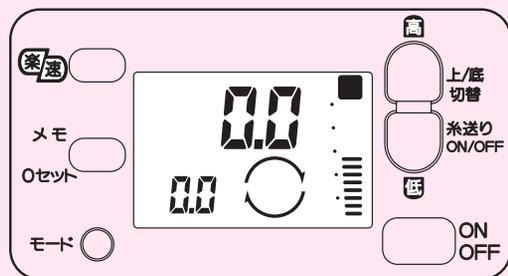
このリールにはデュラPE (新素材) 6号を300m巻いたデータがインプットされています。
この糸を巻かれる場合は次のような操作をしてください。



1 先の細いボールペンのようなものでモードスイッチを2回押してください。
「指定」が点灯、図のように表示され、指定モードになります。
モードスイッチを2回以上押しすぎて下巻・学習モードになってしまった場合、指定が表示されるまで何回か押してください。

2 これで糸を巻きます。
左下の数字が3になるテンションで、巻いてください。電動巻き上げは約10mの手前で自動的にストップします。
残りの糸を手巻きで巻いて下さい。

3 糸を完全に巻き終えたら、学習を終了するためメモ・0セットボタンを3秒以上押してください。
表示は図のようになり、「セット」が表示されます。
各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、その後次のモードになります。



- 4 表示が上からモードに戻り、学習は完了です。

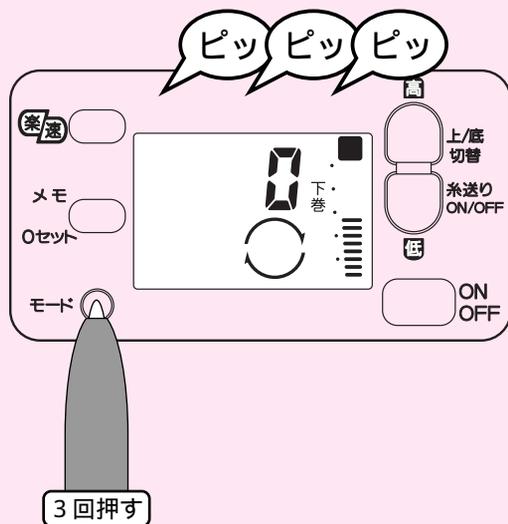
ご注意：他社PE6号-300mを使用される場合カウンターの誤差が3%を超えて生じる場合があります。

学習方法 (下巻を行っての学習も可能です。)

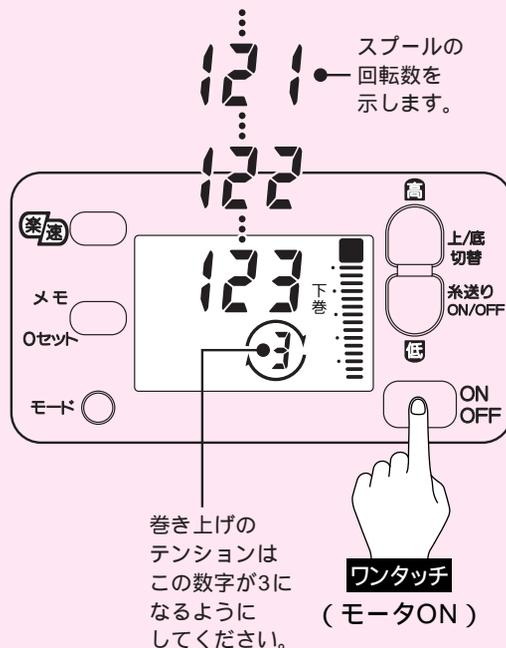


4 PEライン6号200m/4号300mを巻かれる場合:スプールの下巻ラインを使用(下巻モードを使用します。)

5 それ以外の組み合わせ(PEライン4号200m/5号200m/5号300m)を巻かれる場合:付属ゲージを使用(下巻モードを使用します。)



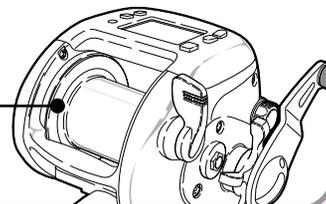
1 先の細いボールペンのようなものでモードスイッチを3回押してください。「下巻」が点灯、図のように表示され、下巻モードになります。モードスイッチを3回以上押しすぎて指定・学習モードになってしまった場合、下巻が表示されるまで何回か押してください。



2 右の要領でそれぞれ下巻を行います。メインスイッチを押して糸を巻いてください。上図は高速で下巻している場合の表示です。左下の数字が3になるテンションで巻いてください。

4 の場合

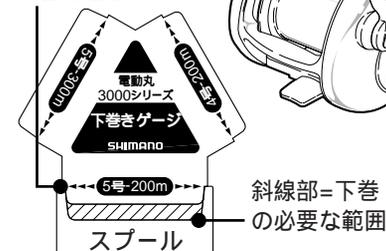
スプールの下巻ラインまで下巻します。



5 の場合

号数マークをスプール外周に合わせる

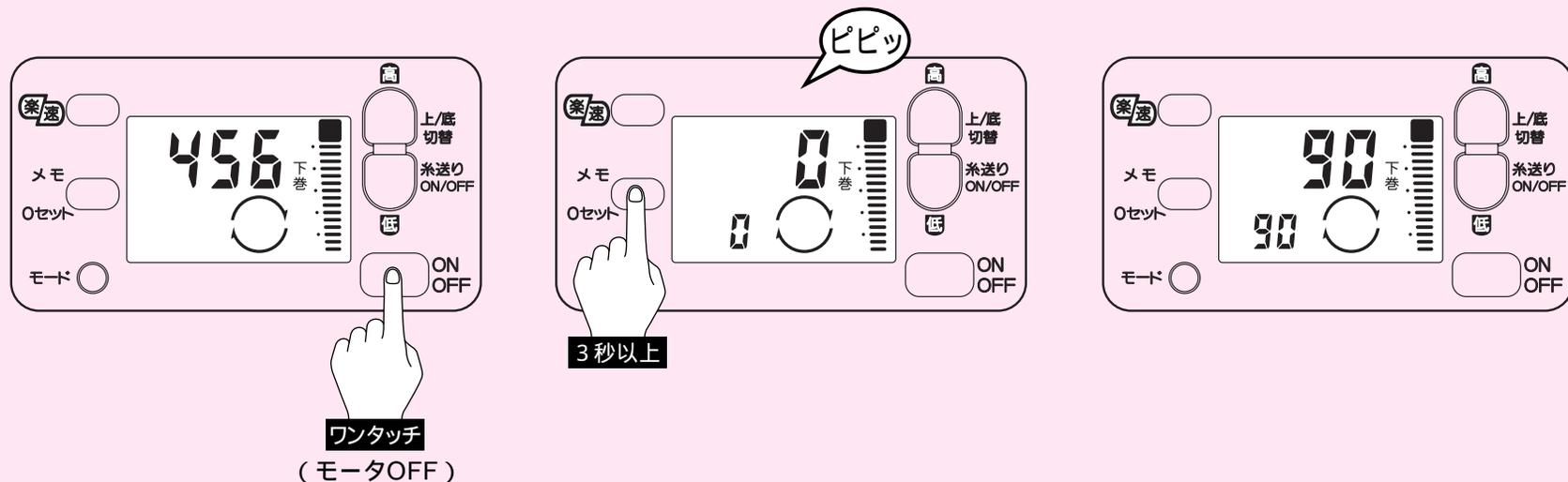
垂直に差し込む



ゲージの使用法

上図のように付属のゲージをスプールに垂直に差し込み、号数マークをスプールの外周に合わせます。スプールとゲージの間にできたすき間(図の斜線部)が下巻をする範囲です。ゲージに当たるまで下巻をしてください。

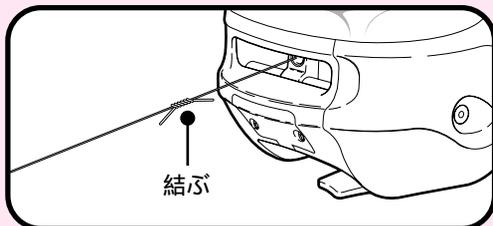
注意:カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数値を示すわけではありません。



3 巻くのを止めるときは、もう一度メインスイッチを押してください。

4 メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。表示は図のようになります。

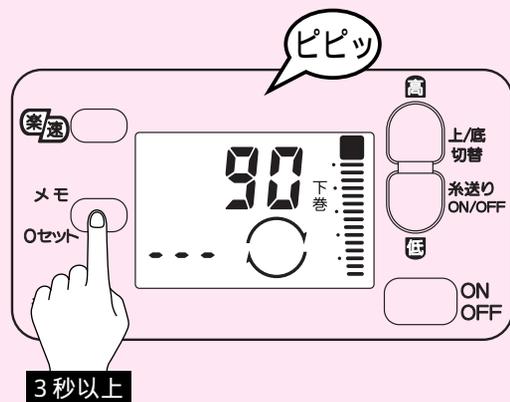
5 上巻糸を正確に10m分手巻きで巻き取ります。回転数が下段に表示されます。



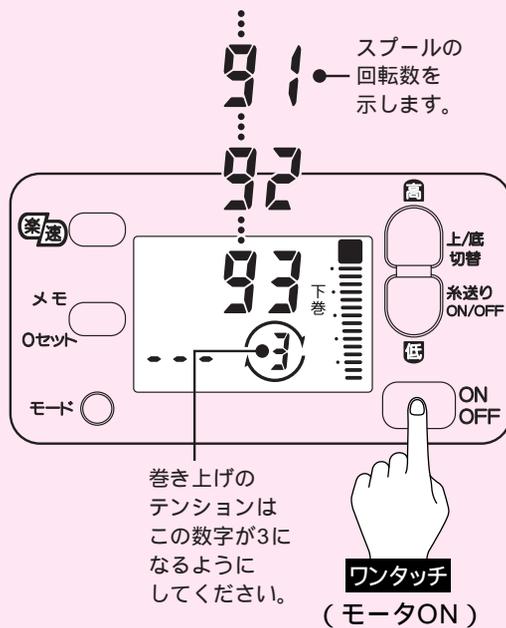
下巻を終えたら、このように下巻に上巻用の糸を結びます。

次ページにつづく

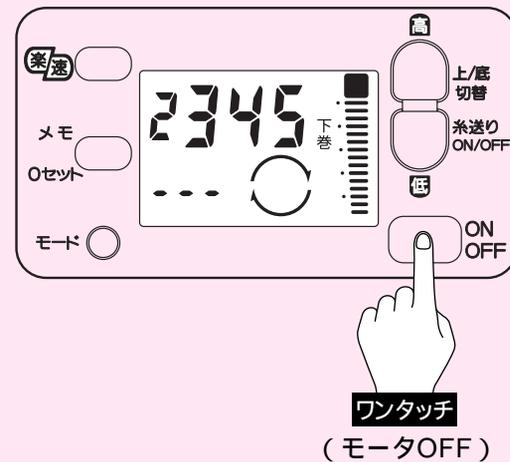
注意:カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数値を示すわけではありません。



- 6** メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。表示は図のようになります。

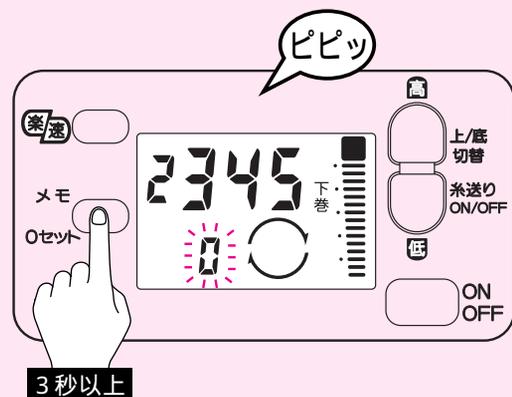


- 7** 上巻糸を学習するため、メインスイッチを押して残りの糸を巻いてください。左下の数字が3になるテンションで巻いてください。

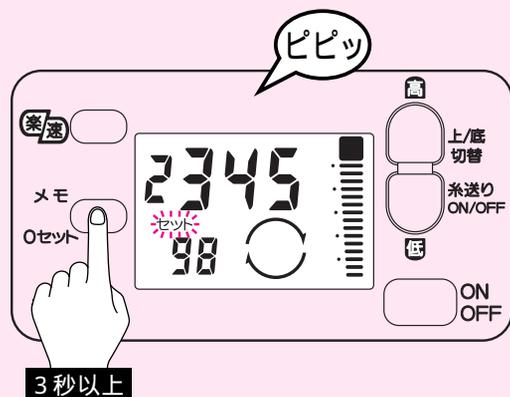


- 8** 巻くのを止めるときは、もう一度メインスイッチを押してください。

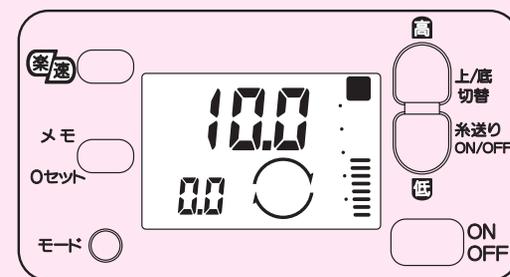
注意:カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合に同じ数値を示すわけではありません。



- 9** 糸を完全に巻き終えたらメモ・0セットボタンを3秒以上押してください。表示は図のようになります。



- 10** 糸を正確に10m分引き出します。(糸の10mごとの色の变化、もしくは1mごとのマーカの数で確認します。) 回転数が下段に表示されます。学習を終了するため、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。「セット」が表示されます。各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなります。上巻分の糸を出してもう一度 **4** からやり直してください。



- 11** 表示が上からモードに戻り、学習は完了です。(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。) 誤差とは、学習後1投目の誤差です。
- 12** 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。

手順について (電動丸3000Rを早く、有効に使いこなすためには...)



かんたん手順

これさえ知っていれば
とにかく使えます。



べんり手順

簡単で、とっても
便利です。

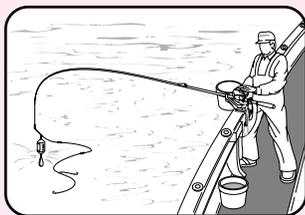


もっともっと べんり手順

知れば知るほどあなたの
釣りの世界が広がります。



0セット

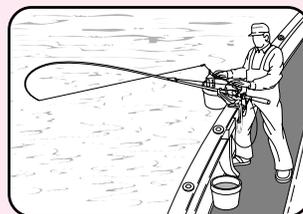


ボタンひとつでシカケが水面
にあるとき0mになるよう
設定。狙った水深に正確に
シカケを投入できます。

くわしくはP24へ!!



船べり自動停止

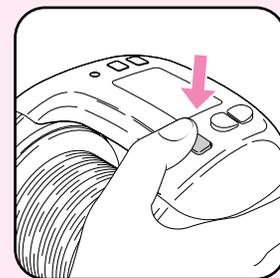


竿を立てるとシカケが手元に
ビタリともどる、船べり自動
停止機能は手返しにダンゼン
差がつかます。

くわしくはP27へ!!



電動巻き上げ



エサの付けかえをするとき
あるいはアタリがあれば、
メインスイッチを押すだけ
で、らくらく巻き上げ。

くわしくはP4へ!!

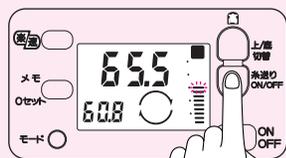


3000Rの機能は大きく分けて3タイプ。あなたの釣り方の好みにあわせてお好きな手順をどうぞ。



ワンタッチ

変速スイッチ



ワンタッチ

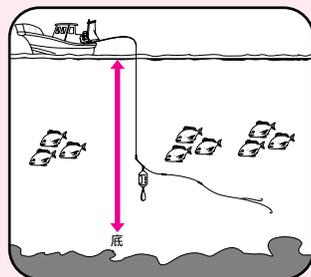
ワンタッチで15段階のスピードに切り換えられるから、自由自在のスピード調整。

くわしくはP36へ!!



メモ

メモ



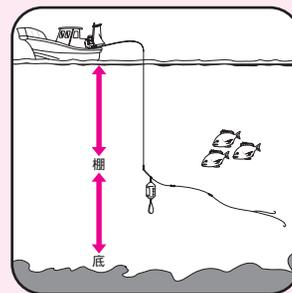
水深をメモリーすれば、次回そこにシカケがくるとアラームが鳴り、底を知らせます。

くわしくはP29へ!!



上・底から

上から・底から モード切替え



釣場、釣り方、対象魚など場合にに応じたカウンター表示「上からモード」「底からモード」が切り替え可能。棚の水深が一目でわかります。

くわしくはP31へ!!



楽・速モード

楽釣・速度一定 モード切替え



切り替え



巻き上げ速度が変化して引っ張り合いやシカケのゆるみを防ぐ「楽釣モード」と、従来の「速度一定モード」の切り替えで状況に応じた巻き上げが可能です。

くわしくは別紙
楽釣モード取説へ!!

色々なテクニック (ここではテクニックの応用を紹介。釣果にダンゼン差をつけるなら必読！)



応用 その1

シカケを速く落すテクニック。

特にイカを狙うときに有効なテクニックです。

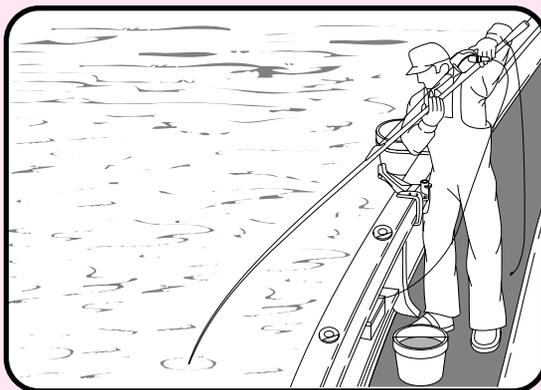
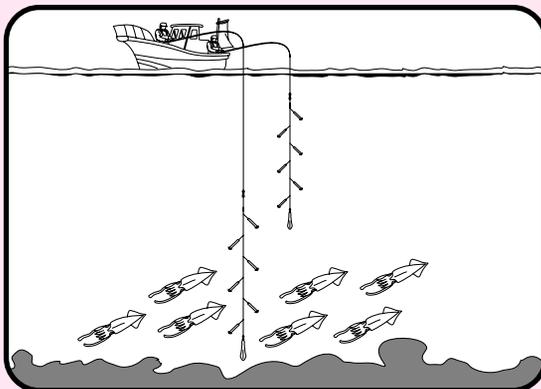
一般的にはスプールコントロールツマミを締めて、スプールのフリー回転を少し悪くし、船の上下動による糸のバックラッシュを防ぎます。

しかし、より速くシカケを落とすためにはスプールコントロールツマミを使わずに、自分の指でスプールをサミングしてください。

この他にも次のようなテクニックがあります。

この電動丸3000Rには、自動糸送りの機能が付いています。シカケを投入して水深が船べり停止位置+5m以上になったら、自動的にモーターのスイッチがONになります。モーターの回転の反動で、スプールが糸の出る方向に回ります。クラッチをリターンさせると、モーターの回転は自動的にストップします。

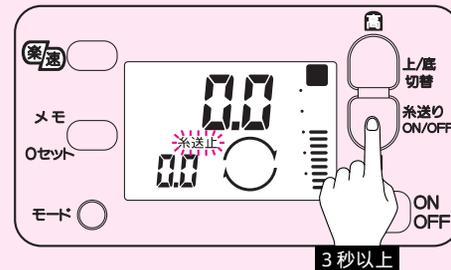
竿先を下に向け、竿全体を立てることで、ガイドの抵抗を少なくすることができます。(右図)



自動糸送り機能を解除する方法

電源を入れたときは自動糸送り機能が作動するようになっています。ガイドの抵抗、バックラッシュなどでこれを解除したいときは下記のような操作をしてください。

モーターが停止した状態で、変速スイッチを低の方に3秒押しっぱなしにします。表示が「糸送止」となり、これで作動しなくなります。(速度表示はもとにもどります。)もう一度作動させたいときは、同様の操作を行ってください。



3秒以上



電動+手動で スピーディーにシカケを 回収するテクニック。



手返しの時やポイントの移動時のシカケのカラ巻きを、スピーディーに行なうテクニックです。

変速ボタンを高速にして電動で巻き上げ、さらに手動で巻き上げると速く巻けます。(この時、ロッドキーパーに竿を取り付けたまま行えば楽です。)

0(ゼロ)セットの設定 (釣りを始める前に必ず行なってください。)



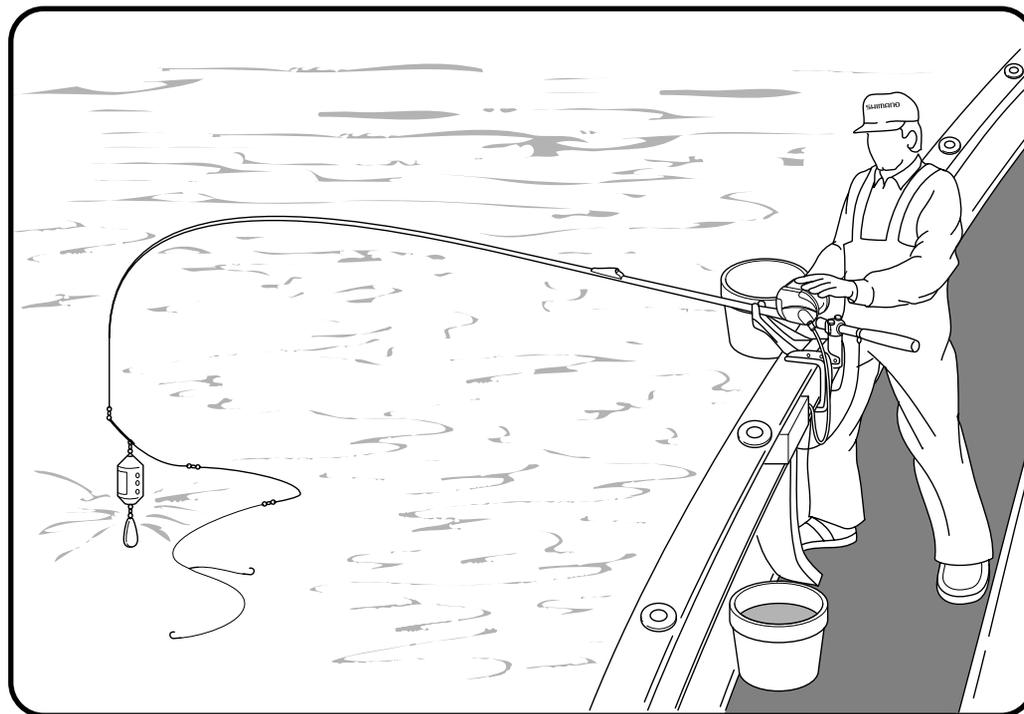
正確な棚取りを実現するために。

釣果アップには、正確な棚取りが不可欠です。

そこで「0セット」を設定します。

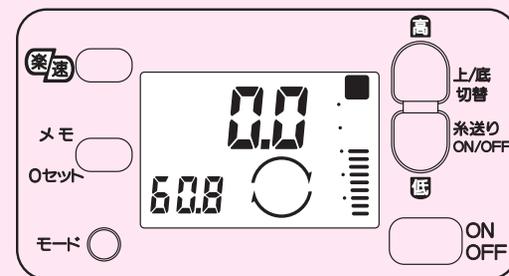
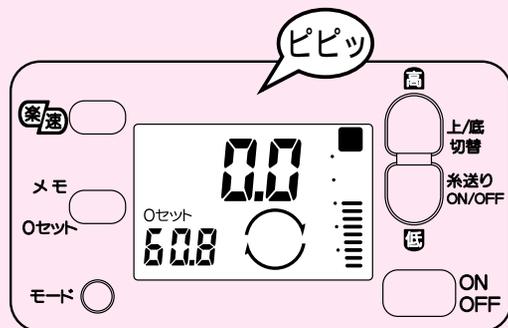
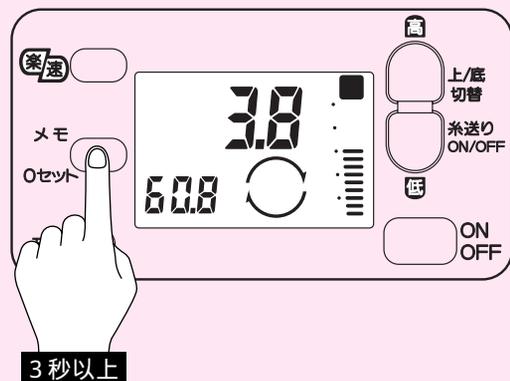
「0セット」とは、シカケが水面にある

時を0mとして設定することです。「0セット」によって、シカケの位置が水深を示すようになり、正確な棚取りを可能にします。



シカケが水面にある時を0mとして設定します。

0セットを試してみましょう。



- 1** シカケを水面に合わせ、0セットボタンを3秒以上押して下さい。
(図は上からモードになっています。)

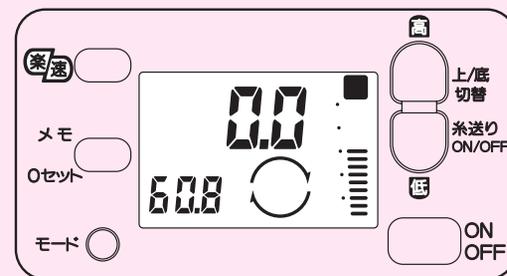
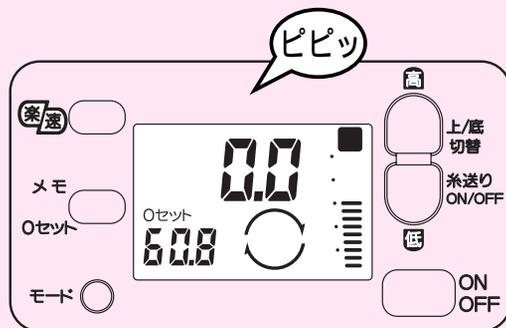
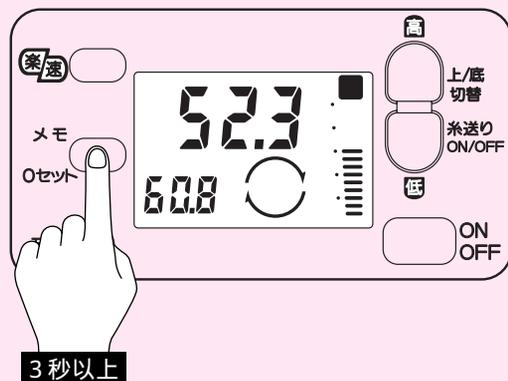
- 2** 上図のように表示が変わります。
(現在の水深が6.1m以上の時は、いったん「ピッ」のアラームとともに底メモで受け付けますが、0セットボタンを3秒以上押し続けられ、再度0セットとして上図のように受け付け直されます。)

- 3** 0セットの表示が消えれば、これで完了です。

高切れの補正



高切れした場合も、簡単操作で補正が可能です。



1 シカケを結びなおし、水面にシカケを合わせて、0セットボタンを3秒以上押します。

2 上図のように表示が変わります。

3 これで、コンピュータが自動的に高切れした位置からの実測値表示にプログラムを変更します。

船べり自動停止について

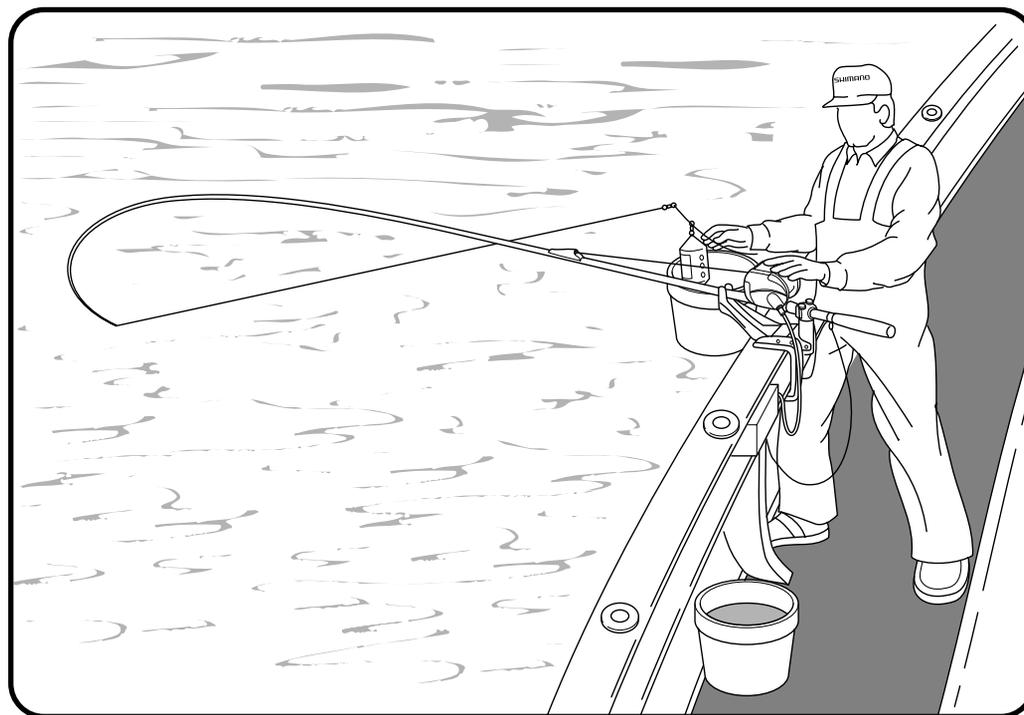


電動巻き上げ停止後、竿を立てればシカケが手元にもどります。

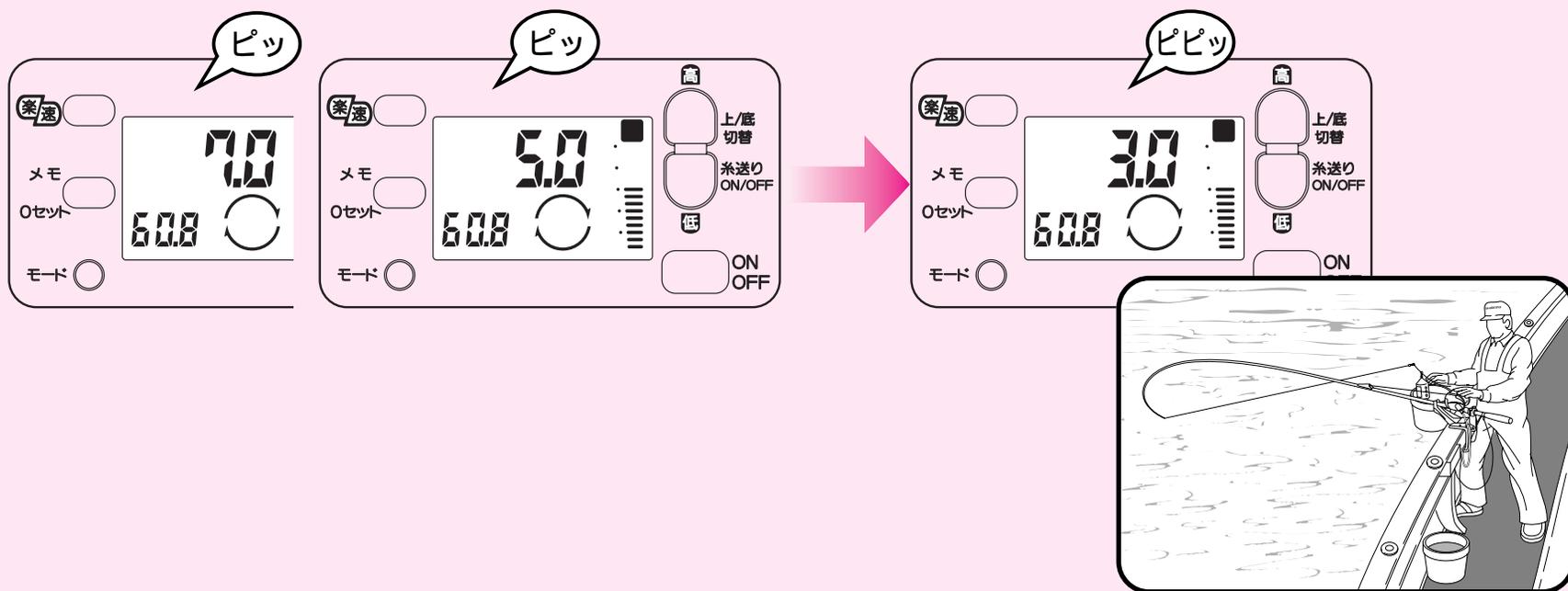
船べり停止後、竿を立てたときにシカケが手元にくるように自動的に設定されます。

電源投入時初回のみ6mで船べり停止します。2回目以降はコンピュータが自動的に判断してシカケは前回の投入の位置で停止します。

(この機能は1m～6mの範囲で作動します。)



船べり自動停止位置の4m手前からアラームでお知らせします。



1 セットされている船べり自動停止位置の4m手前から、2mごとにアラームでお知らせします。(図は上からモードになっています。)

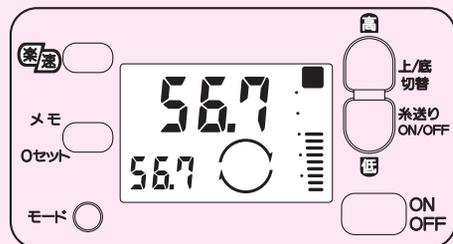
2 船べり自動停止位置(この場合は3.0m)で「ピピッ」のアラームが鳴り、自動的に巻き上げを停止します。船べり停止後、竿を立てるだけで手元にシカケがくるので、すばやく上図のようにとりこむことができます。

棚または底の水深をメモリーする方法

メモリーした水深の4m手前からアラームでお知らせします。

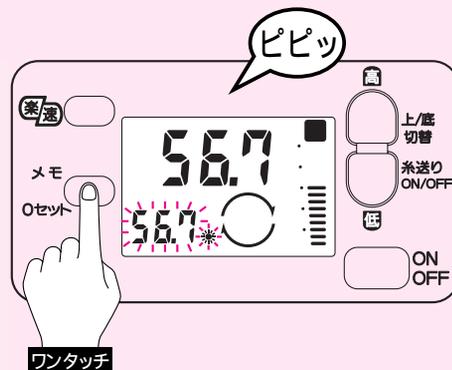


オート棚メモ

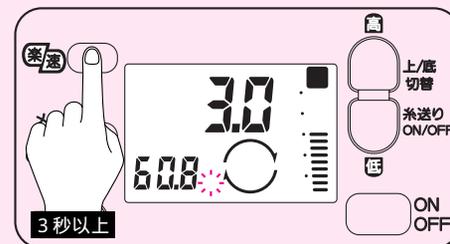


シカケが6秒以上停止していた水深（10m以上の場合）は、棚として自動的にメモリーされ、カウンター左下に表示しています。（複数あれば一番最後の水深・6秒未満停止の場合は最も深かった水深）
（図は上からモードになっています。）

手動棚メモ



シカケをメモリーしたい水深（6.1m以上）に合わせ、メモボタンを3秒未満押しします。上図ですと56.7mの水深がメモリーされます。底からモードの場合、同時に現在の水深が0.0mになります。
このセットは何回でも入れ換えが可能です。

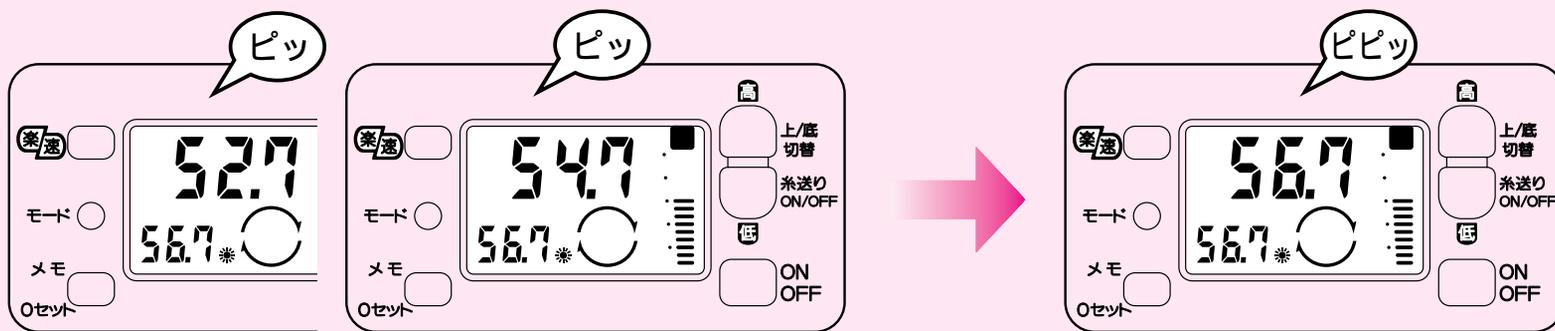


手動棚メモの解除方法

船べり停止時に楽速ボタンを3秒以上押ししてください。

※ マークが消えオート棚メモが働きます。

シカケがメモ水深になると「メモアラーム」によって知らせてくれます。



1 シカケをおろす方向のみ、セットされているメモ水深の4m手前から、2mごとにアラームでお知らせします。

2 メモ水深（この場合は56.7m）で「ピピッ」のアラームが鳴ります。1回の上げ下ろしにつきアラームは1回のみです。いったん6.0m未満まで巻き上げたり、0セットを行ったりした場合、再度アラームがメモ水深をお知らせします。

2通りの棚の取り方・上からモードと底からモード



棚取りに便利な「上からモード」と「底からモード」。

船釣りで釣果を上げるコツは、いかに正確に魚のいる水深（すなわち棚）にシカケを降ろすかということです。

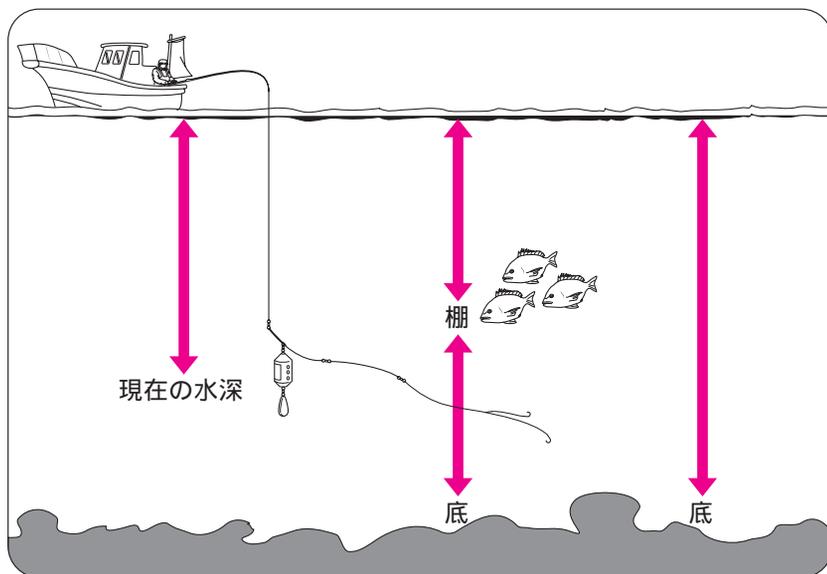
最近は高性能の魚群探知機により、魚のいる水深が正確にわかります。

通常、船長がこの棚を教えてください。この場合釣場、釣り方、対象魚などによって水面から棚が指示される場合と、

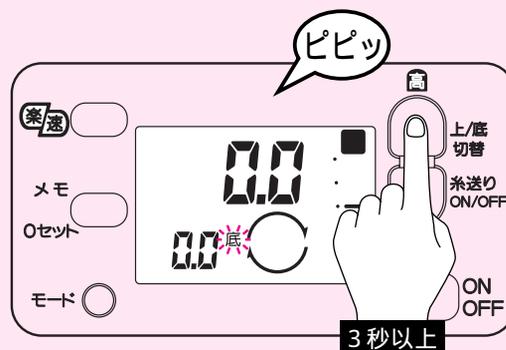
海底すなわち底から棚が指示される場合の二通りがあります。

NEW電動丸3000Rは、上から棚をとるのに便利な「上からモード」と底から棚をとるのに便利な「底からモード」の2つのモードを備えています。

その日の釣りに合わせて、切り替えてご使用ください。



モードを切り替えるには...

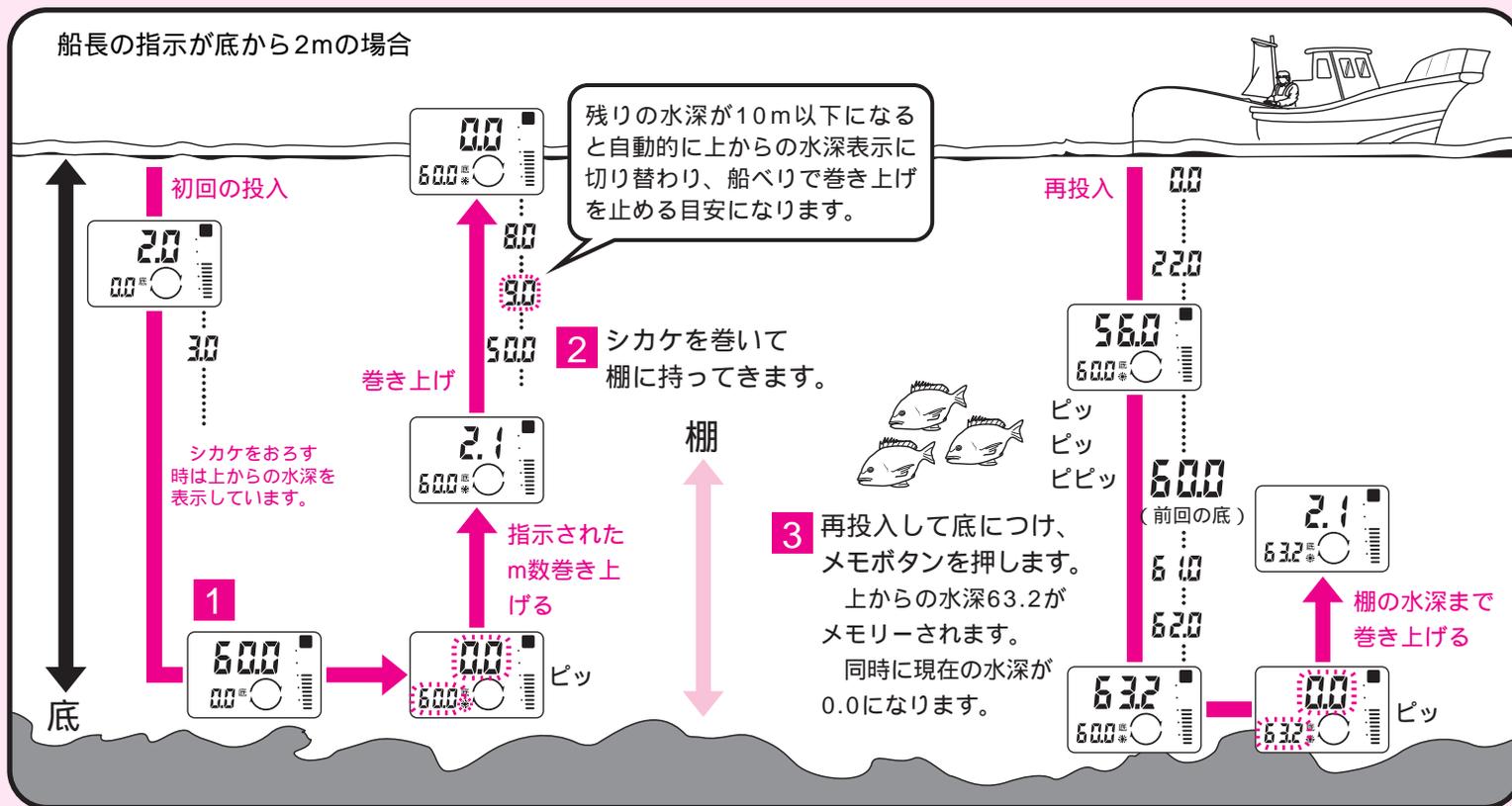


電動巻き上げがオフの時、変速スイッチを高の方に3秒以上押して下さい。

「上からモード」と「底からモード」がその操作のたび交互に切り替わります。

「底から」の表示は底からモードです。表示のない場合は上からモードです。

底からモードの実釣編



- 1 シカケをいったん底につけ、メモボタンを押します。
上からの水深がメモリーされます。
同時に現在の水深が0.0になります。リールを巻き上げるとプラスにカウントし、底からの水深を表すようになります。

解説！

船長の指示が「底から何m」といった場合、釣り人はシカケをいったん底まで降ろしてメモボタンを押し、指示されたm数だけシカケを上げます。（通常この時にコマセを振ります。）
底の状態の変化に魚が平行して付いている釣場では、シカケの投入のたびにシカケを底に着けてから棚を取り直します。

2通りの巻き上げ方・楽釣モードと速度一定モード



1 楽釣モードとは？

「楽釣モード」は、お客さまが設定したテンションを一定に保とうとする機能です。つまりラインにかかるテンション（負荷）をリールが感知して、モーターの回転速度を自動的に変化させ、つねに一定のテンションを保って巻き上げます。

つまり

モーターと魚の瞬間的な引っ張り合いを避けてくれる。	波が荒くて竿の操作では追いつかないときにも便利。
魚が突っ込んだり船が急に持ち上がったときの急なテンションの上昇に応じてモーターが遅くなって調節してくれる。	ポンピングで竿をおろしたときなど急なテンションの降下に応じてモーターが遅くなってシカケにたるみができない。
これなら楽だし、手巻き感覚で安心です！	

さらにこんなメリットも...

活きエサを除くすべての釣りをカバー。テンションの軽いシカケ回収の際には、ほぼ最高速で巻き上げてくるため、電動の速度調整が非常に簡単便利。シカケ回収時に速度があまり上がらない場合は、設定値よりもシカケの負担が大きいことが考えられますので楽釣モード設定値を少し上げて下さい。

いったん楽釣モードのレベルを設定すれば、あとはメインスイッチのON・OFFを押すだけのワンアクション。

電動と魚の瞬間的な引っ張り合いがなくなることによって、シカケ本来の強度が得られます。（一度1号のハリスを瞬間的に引っ張るとじわっと引っ張るとどちらが強いか試してみてください。）



その際手袋等をして、ケガのない様ご注意ください。

各スイッチのはたらきと表示について

楽/速ボタン

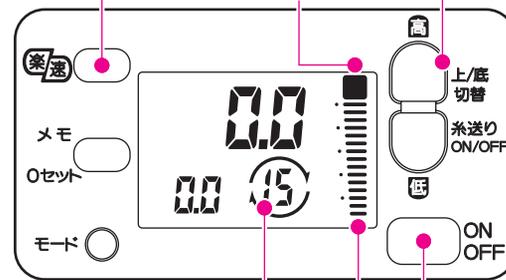
楽釣モード・速度一定モードの設定ボタン。押すごとに楽釣モード・速度一定モードが切り替わります。

発光ダイオード

発光ダイオードの色で現在の設定モードを確認することができます。赤の時 楽釣モード 緑の時 速度一定モード

変速スイッチ

楽釣モードのテンションの設定や速度一定モードの巻き上げ速度の設定を行います。



テンション数値

巻き上げの力（糸のテンション）を数字で表示します。楽釣モードではこの数値を設定します。数字=Kgではありません。

メインスイッチ

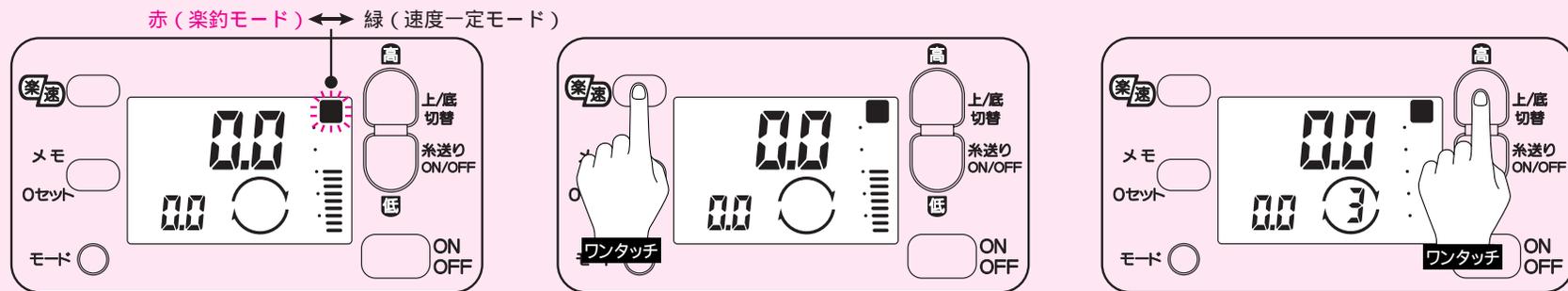
電動巻き上げのオン・オフスイッチです。

スピード表示

電動巻き上げのスピードを表示します。巻き取り動作を行っていないときは速度目盛りは表示されません。巻き取りを始めると、設定された楽釣モードの数値になろうと速くなったり遅くなったりしますので速度目盛りが上下します。速度一定モードではこの表示で電動巻き上げ速度を設定します。

ここでは楽釣モード・速度一定モードの設定に関するスイッチ、表示のみについてご紹介しています。

楽釣モードの設定方法 面倒な操作がいらすワンタッチで設定でき、誰にでもすぐ使いこなせます!



1 発光ダイオードの色を確認します。
 現在設定されているモードはこの発光ダイオードの光の色ですぐに見分けられます。
 赤 が点灯していれば楽釣モード、 緑 が点灯していれば速度一定モードです。
 赤 の場合は **3** の、 緑 の場合は **2** の操作を行います。

2 楽/速ボタンを押します。
 もし発光ダイオードの色が 緑 だったら楽/速ボタンを1回押します。ワンタッチで簡単にモードを切り替えられます。(**3** の操作へ)

3 変速スイッチでテンションの数値を設定したら完了です。
 テンションは1～15までの15段階の設定が行えます。

すでに発光ダイオードが 赤 (楽釣モード) の場合

テンション設定数値 対象魚別の目安
 テンションの数値は、使用するハリスおよびシカケを考慮して設定してください。対象魚別の設定値は右記の一覧表を参考にしてください。
 設定値はあくまで目安です。

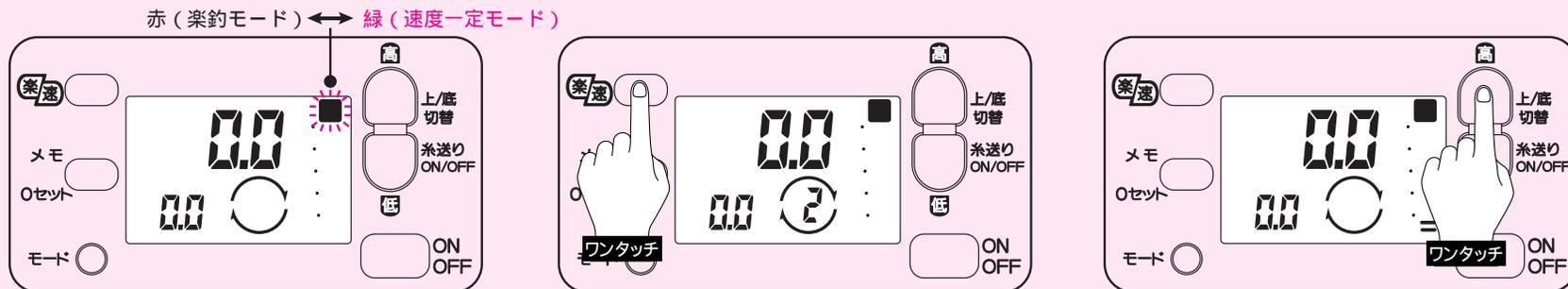
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
アジ		■													
マダイ			■												
ヒラメ				■											
イカ				■											
ワラサ							■								



2 速度一定モードとは?

巻き上げてくる対象物が大きくなろうが小さくなろうが、つまりリールにかかる負荷が大きくても小さくても、モーターが調整して設定された速度を一定に保って巻き上げます。(速度 電動リールのスプール回転速度)

速度一定モードの設定方法 生きエサを使うときにはこのモードで! 切り替えもワンタッチで簡単です。



- 1 発光ダイオードの色を確認します。
速度一定モードでは 緑 が点灯します。
赤 が点灯していれば楽釣モードです。
赤 の場合は **3** の、緑 の場合は **2** の操作を行います。

- 2 楽/速ボタンを押します。
もし発光ダイオードの色が 赤 だったら楽/速ボタンを1回押します。ワンタッチで簡単にモードを切り替えられます。(**3** の操作へ)

- 3 変速スイッチで速度を設定したら完了です。設定範囲は15段階です。

すでに発光ダイオードが 緑 (速度一定モード) の場合

速度一定モード設定数値一覧表 (目安)

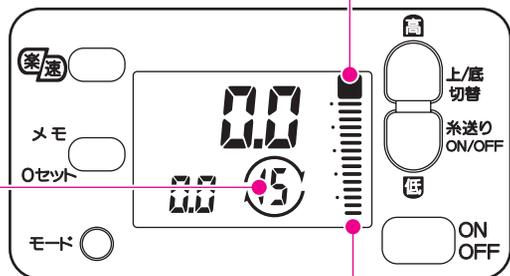
各設定値での速度は下記の一覧表を参考にしてください。設定値はあくまで目安です。()は無負荷時です。

設定値	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
速度一定モード (m/分)	7	12	17	24	32	40	48	56	64	72	80	88	96	104	(155)

速度一定モード時の液晶表示

発光ダイオード

速度一定モードでは、発光ダイオードが緑になります。



スピード表示

この目盛りを基準に速度を設定します。

テンション数値

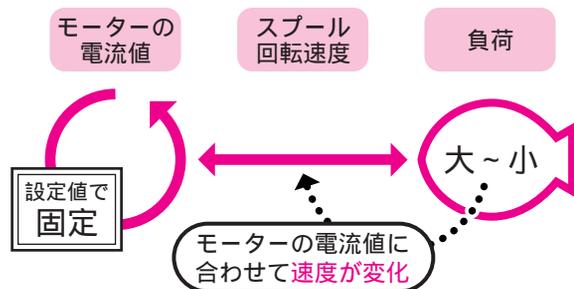
速度一定モードの場合、巻き取り動作を行っていないときはこの部分の楽釣モード設定数値は表示されません。巻き取りをはじめると、設定された速度を一定に保とうとしてこの部分の楽釣モード数値が変化します。この数値の大小により現在のモーターにかかっている負荷がわかります。(巻き上げてくる対象物の大小がわかります。)速度一定モードで巻き取り中に表示されるテンション値は、楽釣モードで設定するテンション値と同じです。

楽釣モード・速度一定モードの詳細について...

【楽釣モード】

楽釣モードのテンションとは電動のモーター消費電流値の事で、楽釣モード時には設定した消費電流値が、電動にかかる負荷の上下で変わらないよう調整されます。つまりモーター消費電流値が固定されるわけです。消費電流値 (= テンション) が固定されると、負荷が大きくなれば巻き上げ速度は遅くなり、負荷が小さくなれば巻き上げ速度が速くなります。(電動のパワー調整機能)

したがってテンションを設定するという事は、実はモーターに流れる電流値を設定しているわけです。

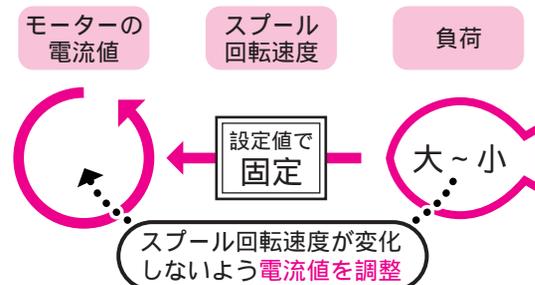


【速度一定モード】

速度一定モードの速度とは電動のスプールの回転速度のことで、設定したスプールの回転速度が、電動にかかる負荷の上下で変わらないよう調整されます。

速度一定モードでは、モーターに流れ込む電流値とスプールの回転速度を検知し、設定した数値よりも回転速度が落ち込んでくると電流値をアップさせて回転速度を保ちます。

たとえば速度のレベルを5速に設定したとします。そしてその速度を32m/分とすると、1kgのタイがかかったときでも32m/分で巻き上げてきますし、5kgのタイがかかったときでも電動に流れ込む電流値がアップして32m/分で巻き上げます。



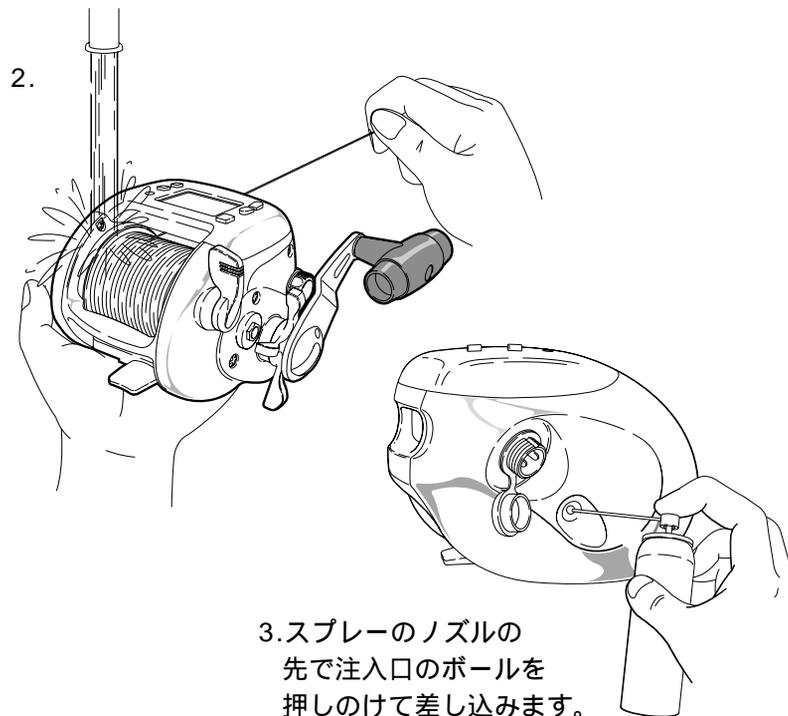
お取り扱い上の注意

電動丸は、精密部品で構成されていますので下記注意事項を守ってお取り扱いください。
また、釣行後の手入れを十分行ない、未永くご使用ください。

1 リールのお手入れ方法について

この電動丸3000Rはリールに付いたコマセなどの汚れを洗い落とし、ベアリングにオイルを注入できるシステムになっています。
用意するもの：リール・中性洗剤・スポンジ・オイルスプレー

1. 水道水をリールにかけながら、洗剤を含ませたスポンジで汚れを落とします。水中に浸けて洗わないでください。
2. 水をかけて洗剤を落とします。スプールと本体の間に水をかけながらクラッチを切って道糸を2～3m出します。（右図参照）これによりスプール軸受け部に付着した塩分を洗い流せます。
3. 釣行2～3回おきに、右図のように左サイドプレート下の穴より別売のオイルスプレーを注入してください。
オイル注入後の保管によって、注入口等よりオイルが流れ出ることがありますのでオイル汚れにご注意ください。
4. 影干してよく乾燥させてください。その後、リールをひっくり返し裏側から見て、レベルwind部分の棒状ギヤとその右側付け根の白いリング部分（付属のパーツリストにあるクロスギヤ軸及びクロスギヤ受け）に綿棒等でグリスUPしてください。



2 ご使用上の注意

根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、できるだけ釣場に糸が残らないように引き寄せて切ってください。
リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げやバッグ内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。
リールは落としたり、衝撃を与えないよう、ていねいに扱ってください。

船の竿立てに収められる時は、リール後部及び電源コードに衝撃を与えないよう、また、コードを折り曲げないようにご注意ください。
特にコードをリールと船べりの間にはさまないようにご注意ください。
偏光ガラスの種類によってカウンター液晶画面が見にくくなる場合があります。

3 お手入れの方法

コネクター部の腐食防止のために、リールを使用にならない時は防水キャップをしてください。

リールは絶対に分解しないでください。内部にはモーター、ブレーカーなどの電気部品が入っていますので故障の原因となります。

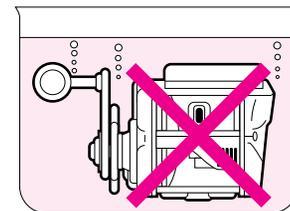
ドラッグ部分には絶対オイルを付けしないでください。オイルが入るとドラッグ力が低下することがあります。ドラッグ部分には水が入らないようにしてください。

高温、高湿の状態です長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、上記の手入れを実施後、風通しの良い場所で保存してください。

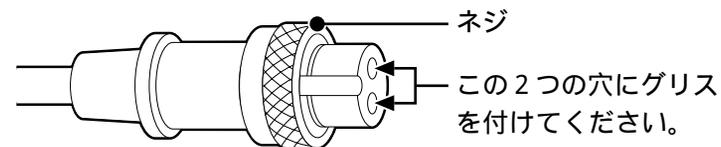
ご自分で分解・修理をされる場合は、部品のエッジ等で手を切らないようにご注意ください。

リール本体、特にカウンターユニット部は、水没させないでください。

(カウンターユニットは日常生活防水仕様ですがトラブルを防止するため、水没させないでください。)



お手持ちのリールを末永くご愛用いただけるよう特別のグリスを作成しました。下記の図のように電源コードの端子の2つの穴に付けていただくようお願いします。



4 セーフティ機能

自動復帰ブレーカー

モーターに過負荷がかかった場合、モーターを保護するためにブレーカーが働きます。

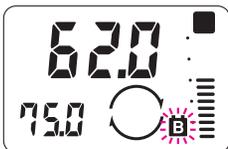
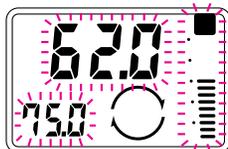
ブレーカーが作動した時は右図のように全表示が点滅します。

注意 この時、モーター保護のためモータースイッチをOFF・ONせずに5分以上休ませてください。

点滅が点灯になればブレーカーは復帰です。

バッテリー検出表示

バッテリー電圧が下がったり、コード・コネクタの接触不良がおこると、バッテリーの絵文字が点灯します。



パワーアップシステム

巻き上げ速度が中速または低速の時、負荷が大きくなっても一定速度で巻き上げます。

5 仕様

品番	製品コード	ギヤ比	最大ドラグ力 (N/kg)	自重 (g)	糸巻量(号-m) デュラPE糸使用	最大巻上速度 (cm/ハンドル1回転)	電動巻上速度 (m/分)	スプール (径mm/幅mm)	ボール ベアリング
電動丸3000R	RG183000	3.3 :1	78.4/8.0	645	4-400 5-350 6-300 8-200	59	最高速155・中速104～低速7まで 14変速の合計15変速	57/46	1

標準付属品 コード、布袋、取扱説明書、分解図、グリス、糸通しピン、下巻きゲージ

製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。
手紙での問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。
その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に（例/ストッパーが働かない）お知らせください。

また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所・本社または釣具サービス課へお問い合わせください。

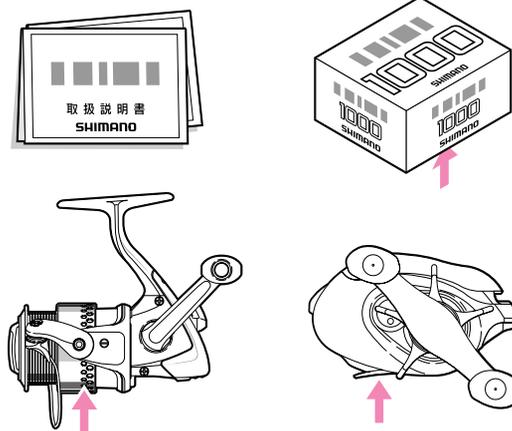
修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。

ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、ご注文ください。（内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。）

例 / 製品名 : ステラFW1000S
製品コード : SC78B010
部品番号 : 2
部品名 : スプール

製品コードの位置

取扱説明書・分解図・パッケージ底面部・製品（コードの上5ケタを表示しています。）



故障かな？と思われたときは

こんなとき	操作	参照
液晶が真っ黒、及び全文字が現れる。	高温度の雰囲気（車のトランクの中等）にさらされた時に生じる場合がありますが、温度が下がるにしたがって正常にもどります。	
液晶が表示しない。	バッテリーと電源コードの（+）（-）とが正しく接続されているかをお確かめください。バッテリー容量が不足していないか、ご確認ください。	P.6
液晶が表示しない。（極寒で使用の場合）	液晶の特性上-15℃以下で放置されますと、電源をつないでもしばらくの間表示しません。（電源がONの状態になり、カウンター内部の基板が温まれば表示されます。） 極寒で 사용되는場合、船がポイントに着くまでは電動リールをキャビンに入れてもらうかカバーを付け、保護することをおすすめします。	
糸巻学習がセットされない。	お手数ですが再度学習の上、ご確認ください。	P.7～P.19
ラインを送り出してもカウントしない。	お手数ですが再度学習の上、ご確認ください。	P.7～P.19
誤差が大きい。	お手数ですが再度学習の上、ご確認ください。	P.7～P.19
カウンター表示と、糸の水深色分けとが一致しない。	糸の種類により、程度の差はありますが、使用中に糸が伸びることによりカウンターの表示との間にズレを生じる場合があります。	
船べり停止位置が違う。	巻き上げのテンションや糸の伸びの影響とされます。水面での0セットを行なってください。また、入力可能な船べりセットは、1m～6m未満の範囲です。0m～1m未満のセットは安全のため1mに設定しています。	P.24～P.25 P.27～P.28
液晶表示はするがモーターが作動しない。	バッテリーの容量が十分かどうかご確認ください。 モーターが低速では作動するが、高速では作動しない場合もバッテリーの容量不足が考えられます。バッテリーを充電のうえ、ご確認ください。なお、充電しても正常に作動しない時は、バッテリーが古くなったことが考えられますので、新しいバッテリーと交換し、再度ご確認ください。	P.6
巻き上げ中にモーターが停止する。	電源コネクターのネジがしっかりと締め付けられているかご確認ください。 船電源の端子や、リールや電源コードのコネクター部分がサビしていると、通電不良を生じます。サビを落としてからもう一度ご確認ください。	P.6
メインスイッチを押し、指を離すとモーターが止まる。	船べり停止以後は、寸動動作でメインスイッチを押している間しかモーターは回りません。または、メインスイッチがダブルクリックモードになっていないか確認してください。	P.4

こんなとき	操作	参照
いくら0セットを押しても水深が合わない。	<p>オマツリで電源コードを抜いた場合など、電源をOFFにしてシカケを手巻きで回収していませんか?その後電源をONすると、手巻きで巻いた分の糸巻量が計算されません。この状態で0セットを行った場合、再度初めから学習をやり直してください。(水深が合わない現象は、プラスの水深〔例えば50mなど〕で0セットを行うことで、水深を高切れで切れた糸巻量とリールが判断するため起こります。)</p> <p>まだ0セットを行っていない場合、電源OFFの状態ですべてシカケを下ろした後、電源ONにして巻き上げ、シカケが手元にある状態でマイナスの水深にします。その後、0セットを行えばOKです。この際、マイナスの水深のため電動巻き上げはスイッチを押しっぱなしにしますので、穂先の巻き込みによる破損に注意してください。</p>	<p>P.7 ~ P.19 P.24 ~ P.26 P.4</p>

以上の確認を行っても直らない場合は、お手数ですがお買上になった小売店にて、修理カードに故障内容をできるだけ詳しく書いていただき、シマノサービスセンターにお送りください。

ご使用前に必ずお読みください。

警告



電動リールを使用されますと微弱な電波が発せられ、補聴器、ペースメーカー等の医療機器が誤作動したりするなど影響を与える場合があります。
特に心臓ペースメーカーをご使用されている方が電動リールを使用されますと、動悸、目眩が起こる場合がございますので、本製品のご使用前に必ず当該各医用電気機器メーカー、もしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
糸をリードするレベルウィンドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。
指をはさまれて、けがをするおそれがあります。
ハンドルとボディーの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。



バッテリー、船電源の所定電圧（12ボルト）以外を使用しないで下さい。所定の電圧以外を使用すると、電動リールが発熱し、手をやけどするおそれがあります。

注意



回転しているスプールには触れないで下さい。けがをするおそれがあります。



電動リールは分解・改造等はやしないでください。故障や事故につながる原因となります。

株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 北海道営業所

〒001-0034 札幌市北区北34条西10-6-21 TEL.(011)716-3301

株式会社シマノ 仙台営業所

〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10 TEL.(022)232-4775

株式会社シマノ 埼玉営業所

〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1 TEL.(048)772-6662

株式会社シマノ 東京営業所

〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL.(03)3744-5656

株式会社シマノ 千葉営業所

〒284-0045 千葉県四街道市美しが丘1-30-11 TEL.(043)433-1780

株式会社シマノ 静岡営業所

〒410-0807 静岡県沼津市錦町674 TEL.(0559)62-3983

株式会社シマノ 名古屋営業所

〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21 TEL.(052)331-8666

株式会社シマノ 大阪営業所

〒660-0085 兵庫県尼崎市元浜町4-85 TEL.(06)6418-4541

株式会社シマノ 岡山営業所

〒700-0941 岡山市青江6-6-18 TEL.(086)264-6100

株式会社シマノ 広島営業所

〒734-0005 広島市南区翠1-11-6 TEL.(082)255-8143

株式会社シマノ 四国営業所

〒768-0014 香川県観音寺市流岡町1496-1 TEL.(0875)23-2220

株式会社シマノ 九州営業所

〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6 TEL.(0942)83-1515

株式会社シマノ 釣具事業部 本社：〒590-8577 大阪府堺市老松町3丁77番地

商品の性能、スペック、カタログ、イベントなどに関するお問い合わせ

フリーダイヤル ☎0120-861130(ハローイイサオ)受付時間:AM9:00~12:00・PM1:00~5:00(土・日・祝祭日除く)

釣具サービス課：〒592-8331 大阪府堺市築港新町1-5-15

商品の修理、パーツなどアフターサービスに関するお問い合わせ TEL.(0722)43-2851 / FAX.(0722)43-2860

シマノホームページ アドレスは <http://www.shimano.co.jp> です。

新製品やタックル検索エンジン、気象情報などシマノならではのオリジナル情報を発信しています。

Printed in Japan 022



この説明書は再生紙を使用しています。

SHIMANO